

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	関係法規・制度	学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須
担当教員	山中　一馬	学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座）　ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	1．美容師国家試験（関係法規・制度）合格水準に1 0 0 %到達させる。 2．美容師の社会的責任・職業倫理を理解させる。 3．美容師制度に関する法的規制、制度を理解させる。						
授業計画・内容							
第1 週	関係法規・制度を受講するにあたって		第1 6 週	前期試験の復習			
第2 週	法制度の概要①		第1 7 週	美容師と理容師 業務比較			
第3 週	法制度の概要②		第1 8 週	美容師試験			
第4 週	衛生法規の概要①		第1 9 週	美容師免許と登録			
第5 週	衛生法規の概要②		第2 0 週	美容師免許の変更届			
第6 週	法と行政の関係①		第2 1 週	業務停止、免許取消・再免許			
第7 週	法と行政の関係②		第2 2 週	管理美容師			
第8 週	衛生行政の意義と歴史①		第2 3 週	美容所の開設			
第9 週	衛生行政の意義と歴史②		第2 4 週	美容師が講ずべき衛生管理			
第1 0 週	衛生行政の種類①		第2 5 週	開設者が講ずべき衛生管理			
第1 1 週	衛生行政の種類②		第2 6 週	立入検査・環境衛生監視員			
第1 2 週	衛生行政機関について		第2 7 週	行政処分			
第1 3 週	美容師法の目的		第2 8 週	罰則			
第1 4 週	美容師法の体系		第2 9 週	生活衛生法 試験出題対策			
第1 5 週	用語の定義		第3 0 週	総まとめ			
評価方法	定期試験（前期・後期試験）を実施し、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。 評価目安：定期試験（9 0 %）・授業態度や出席（1 0 %）						
教科書 教材など	公益財団法人　日本理容美容教育センター発行。書名：関係法規・制度及びワークブック						
実務経験	大学法学部卒、法律事務所勤務経験あり				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理	学科名				授業方法	講義
担当教員	難波 弘行	学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	・美容業務の衛生性を向上させる為に、美容器具などの消毒法の意義と原理を理解し適正な実施方法を身につける。 ・美容師国家試験（筆記）課題でもあり、1年次に学習した「公衆衛生」「環境衛生」「感染症」と合わせて、2年次で学習する「衛生管理技術」を理解し、美容師国家試験合格のための基礎的知識を習得する。						
授業計画・内容							
第 1 週	4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論 1節 病原微生物と非病原微生物 ・消毒の原理	第 1 6 週	2節 理容所・美容所の消毒の実際（1）・理・美容所における消毒の原則 ・消毒設備 ・理・美容器具類の消毒法				
第 2 週	2節 消毒の意義・発病と消毒の意義 ・防腐の定義 3節 理容・美容の業務と消毒との関係	第 1 7 週	2節 理容所・美容所の消毒の実際（2）・理・美容所における消毒の原則 ・消毒設備 ・理・美容器具類の消毒法				
第 3 週	2節 消毒の意義・発病と消毒の意義 ・防腐の定義 3節 理容・美容の業務と消毒との関係	第 1 8 週	2節 理容所・美容所の消毒の実際（3）・理・美容所における消毒の原則 ・消毒設備 ・理、美容器具類の消毒法				
第 4 週	4節 消毒法と適用上の注意・消毒法の種類・消毒に必要な条件・病原微生物の抵抗力・消毒薬の使用と注意	第 1 9 週	2節 理容所・美容所の消毒の実際（4）・手指の消毒 ・その他のものの消毒（1）				
第 5 週	4節 消毒法と適用上の注意 2章 消毒法各論 1節 理学的消毒法	第 2 0 週	2節 理容所・美容所の消毒の実際（4）・手指の消毒 ・その他のものの消毒（1）				
第 6 週	2章 消毒法各論 1節 理学的（理学的）消毒法 理学的消毒法	第 2 1 週	3節 理容所・美容所の清潔法の実際（2）・洗い場の構造と清潔保持・清掃・刈り取った毛の処理、汚物箱の消毒・ハエやカの駆除				
第 7 週	2節 化学的消毒法（1） ・アルコール類、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒	第 2 2 週	3節 理容所・美容所の清潔法の実際（3） ・まとめ				
第 8 週	2節 化学的消毒法（2）・界面活性剤、グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒	第 2 3 週	5編 衛生管理の実践例1章 理容所及び美容室における衛生管理要領 2章 理・美容所の自主点検 公衆衛生・環境衛生まとめ（問題）				
第 9 週	2節 化学的消毒法（3）・界面活性剤、グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒・その他	第 2 4 週	公衆衛生・環境衛生まとめ（解説）				
第 1 0 週	2節 化学的消毒法（4）・その他 3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意	第 2 5 週	感染症まとめ（問題）				
第 1 1 週	3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意 3章 消毒法実習（1）1節 各種消毒薬・消毒薬の概要	第 2 6 週	感染症まとめ（解説）				
第 1 2 週	3章 消毒法実習（2） 1節 各種消毒薬（1） ・器具の使い方	第 2 7 週	衛生管理技術まとめ（問題）				
第 1 3 週	1節 各種消毒薬（2） ・常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度・希釈法	第 2 8 週	衛生管理技術まとめ（解説）				
第 1 4 週	1節 各種消毒薬（3）・希釈法	第 2 9 週	後期衛生管理まとめ小テストⅡ（問題）				
第 1 5 週	前期衛生管理まとめ小テスト1（問題・解説）	第 3 0 週	後期衛生管理まとめ小テストⅡ（解説）				
評価方法	定期試験(前期・後期)を実施し、授業態度と出席状況を考慮して成績を評価する。 ※定期試験（9 0 %）・授業態度と出席（1 0 %）						
教科書 教材など	・「衛生管理」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・プロジェクター（パワーポイント使用） ・A4ノート（1人1冊配布）						
実務経験	薬剤師歴42年（倉敷市保健所・病院勤務薬剤師、大学薬学部臨床薬学教授）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	保健	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	岩瀬 泰	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	・美容師試験筆記課題のため、1年次の復習を行う。引き続き2年次も各単元の解説と、重要点をノートにまとめ提出させ確認させる。また、年度末に全体の復習や確認をすることにより、国家試験筆記の合格を目指す。						
授業計画・内容							
第1週	人体について復習 1～2章	第16週	4章 皮膚付属機関の生理機能 ＊体温調節機能及び、近くと皮膚反射				
第2週	人体についての復習 3～4章	第17週	4章 皮膚付属機関の生理機能 ＊分泌排泄作用及び、呼吸・吸収作用				
第3週	人体についての復習 5～6章	第18週	4章 皮膚付属機関の生理機能 ＊貯蔵作用及び、免疫・解毒作用				
第4週	人体についての復習 7～8章	第19週	4章 皮膚付属機関の生理機能 単元テスト ＊再生作用及び、毛と爪のはたらき				
第5週	復習まとめテスト及び、回答・解説	第20週	5章 皮膚付属器官の保健 解答 ＊皮膚と健康・精神・栄養について				
第6週	皮膚科学 皮膚とは何か	第21週	5章 皮膚付属器官の保健 ＊皮膚と体内病変について				
第7週	1章 皮膚の構造 ＊各部の構造および、名称について	第22週	5章 皮膚付属器官の保健 ＊皮膚と水分・脂について				
第8週	1章 表皮について ＊各層の構造および、細胞・名称について	第23週	5章 皮膚付属器官の保健 ＊ホルモンと皮膚の保護手入れについて				
第9週	1章 真皮・皮下組織について ＊各層の構造及び、役割について	第24週	6章 皮膚付属器官の疾患 ＊皮膚の異常とその種類、アレルギーについて				
第10週	1章 部皮膚の位差 単元テスト ＊各部位の差と特徴について	第25週	6章 皮膚付属器官の疾患 ＊湿疹・蕁麻疹等				
第11週	2章 皮膚付属機関の構造 ＊毛の構造と成長・周期	第26週	6章 皮膚付属器官の疾患 ＊温熱・寒冷、角化異常について				
第12週	2章 皮膚付属機関の構造。 ＊脂腺汗腺について	第27週	6章 皮膚付属器官の疾患 ＊色素異常・分泌異常について				
第13週	2章 皮膚付属機関の構造。単元テスト ＊爪や立毛筋について	第28週	6章 皮膚付属器官の疾患 単元テスト ＊細菌・ウィルスによる疾患				
第14週	3章 皮膚の循環と神経 及び単元テスト	第29週	解答及び、人体まとめ ＊過去問形式				
第15週	4章 皮膚付属機関の生理機能 ＊対外保護作用	第30週	皮膚科学まとめ ＊過去問形式				
評価方法	・定期試験を実施すると共に授業時の重要ポイントをまとめたノートの提出・小テスト、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（70％）・ノート提出・小テスト（20％）・授業態度や出席（10％）						
教科書 教材など	①公益社団法人日本理容美容教育センター発行：書名「保健」 ②視聴覚教材：プロジェクター（パワーポイント）						
実務経験	美容師経歴23年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	化粧品化学	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	
担当教員	仁井名 由記	学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	国家試験合格を目標にして、そこにたどり着くための忍耐力を養う。また美容師として身に付けなければならない知識を得て就職してから役立てられるようにしていく。						
授業計画・内容							
第 1 週	5章 頭皮・毛髪用化粧品 1節シャンプー剤		第 1 6 週	5 節 育毛剤 1 育毛の原因			
第 2 週	2ヘアリンス剤		第 1 7 週	2 育毛剤の種類と機能 3 育毛・養毛の原料			
第 3 週	3 ヘアトリートメント剤		第 1 8 週	6 章 芳香製品と特殊化粧品 1 節 芳香製品 1 香水 2 オーデコロン 3 その他芳香製品			
第 4 週	2節 スタイリング剤 1 スタイリング剤の機能		第 1 9 週	2 節 特殊香化粧品 1 サンケア製品 2 美白用香商品			
第 5 週	2油性スタイリング剤		第 2 0 週	3 制汗防臭剤 4 ニキビ化粧品			
第 6 週	3 液状スタイリング剤 4 高分子物質を基材とするスタイリング剤		第 2 1 週	6 章 芳香製品と特殊化粧品 1 節 芳香製品			
第 7 週	3 節 パーマ剤 1 パーマの原理		第 2 2 週	2 節 特殊化粧品 1 サンケア製品 2美白用化粧品			
第 8 週	2パーマ剤の分類		第 2 3 週	3 制汗防臭剤 4 ニキビ化粧品			
第 9 週	3 パーマ剤第1剤		第 2 4 週	ワークブックによる演習			
第 1 0 週	4 パーマ第2剤 5 パーマ剤の使用上の注意		第 2 5 週	ワークブックによる演習			
第 1 1 週	4 節 ヘアカラー製品 1 ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム		第 2 6 週	ワークブックによる演習			
第 1 2 週	2 一時染毛料		第 2 7 週	ワークブックによる演習			
第 1 3 週	3 半永久染毛料		第 2 8 週	ワークブックによる演習			
第 1 4 週	4 脱色剤・脱線剤		第 2 9 週	ワークブックによる演習			
第 1 5 週	5 永久染毛剤 6 ヘアカラー製品の使用上の注意		第 3 0 週	ワークブックによる演習			
評価方法	定期試験と毎授業時間後に行う小テスト、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験 3 4 % 小テストやレポート 3 3 % 授業態度 3 3 %						
教科書 教材など	出版社：公益社団法人、日本理容美容教育センター。書名 ：化粧品化学						
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリーブ 2 1 3年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	運営管理	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	井上祐樹	学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	・本科目「運営管理」のねらいは、国家試験必須科目になっているので、国家試験の合格が出来るようにすることにある。同時に基本的な経営知識、顧客志向、美容業についてなどサービス業（美容業）について理解を深め、働くことの意義や職業理解を通じて、学生の目標を実現に役立てるようにする。						
授業計画・内容							
第 1 週	第 1 節 経営が必要とされる理由 第 2 節 経営が厳しい理由＝経営が必要な理由	第 1 6 週	第 5 節 キャリアプランの重要性 第 6 節 仕事をするうえで考えるべきこと				
第 2 週	第 3 節 経営とは何か 第 4 節 経営資源と経営計画	第 1 7 週	第 1 節 顧客が求める価値 第 2 節 価値の実現				
第 3 週	第 5 節 経営戦略 第 6 節 経営戦略が目指すもの	第 1 8 週	第 3 節 顧客満足の実現のためのシステム 第 4 節 最も重要な価値：人				
第 4 週	第 1 節 業界の概要 第 2 節 競争の変化	第 1 9 週	第 5 節 価値の多様性 顧客が求めるもの 第 6 節 サービスの範囲				
第 5 週	第 3 節 サービスとしての理容・美容 第 4 節 理容業・美容業の顧客について	第 2 0 週	第 1 節 理容業・美容業のマーケティング 第 2 節 マーケティング・ミックス				
第 6 週	第 1 節 資金管理の重要性 第 2 節 収支と損益	第 2 1 週	第 3 節 マーケティング・ミックスの要因 短期的要因 第 4 節 マーケティング・ミックスの要因 短期的要因				
第 7 週	第 3 節 会計の考え方 第 4 節 コストを管理する	第 2 2 週	第 5 節 マーケティング・ミックスの要因 長期的要因 第 6 節 マーケティング・ミックスの要因 長期的要因				
第 8 週	第 5 節 税金について 第 6 節 税金の申告	第 2 3 週	第 7 節 サービスのシステム化				
第 9 週	第 1 節 人という資源とは 第 2 節 人の能力を高める	第 2 4 週	第 1 節 接客についての理解 第 2 節 よい接客のために				
第 1 0 週	第 3 節 人をやる気にさせるには 第 4 節 給与	第 2 5 週	第 3 節 接客の実践① 第 4 節 接客の実践②				
第 1 1 週	第 5 節 待遇・福利厚生 第 6 節 労働者の権利	第 2 6 週	第 5 節 接客の実践③ 第 6 節 接客の実践④				
第 1 2 週	第 1 節 健康管理の基礎 第 2 節 理容・美容の仕事と健康	第 2 7 週	第 7 節 接客の実践⑤ 第 8 節 接客におけるトラブルと対応				
第 1 3 週	第 3 節 理容業・美容業に特徴的な健康問題 第 4 節 理容・美容の作業環境に関する健康管理	第 2 8 週	第 9 節 接客で発生が予想される問題 第10節 問題を深刻化させないためのの対策・対処				
第 1 4 週	第 1 節 社会人として、理美容業の従業員としての責任	第 2 9 週	国家試験対策				
第 1 5 週	第 3 節 社会保険②～医療年金～ 第 4 節 社会保険③～労働保険～	第 3 0 週	国家試験対策				
評価方法	定期試験（前期・後期）を実施する。毎時間の板書ノートの提出、出席状況、授業態度などを考慮して成績を評価する。 ※評価目安：①定期試験（８０％）・②ノート提出（５％）・③授業態度や出席（１５％）						
教科書 教材など	・出版社：公益社団法人 日本理容美容教育センター。書名：運営管理 ・プロジェクター（パワーポイント使用）						
実務経験	美容師歴：6年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容技術理論	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	森下堅一・白神健一・守谷志妃	学年・学期	2年・通年	時間数	90時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座）　ポディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	・ 今期の学生より国家試験における出題数が55問に増加しており、合格に向けて授業中に行った単元テストや過去問題、予想問題等を行う事により、クラス全員が安定して8割の正答率を出せるようにする。 ・ 就職した際に困らない為にも基礎知識が理解できるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	・ 3章　ヘアデザイン　美容とデザイン ※ヘアデザインにおける錯覚の利用		第16週	・ 11章日本髪　（日本髪の由来） ※日本髪の歴史			
第2週	・ 3章　錯覚の種類と説明 ※幾何学錯視・ツェルナー錯視等　デザインの要素		第17週	・ 11章日本髪　（日本髪の名称と特徴） ※日本髪における名称と特徴について			
第3週	・ 8章エステティック　（エステティック概論） ※皮膚の生理と構造		第18週	・ 11章日本髪　（日本髪の装飾品） ※装飾品の名称や取り付け位置			
第4週	・ 8章エステティック　（マッサージ理論） ※フェイシャル及びデコルテマッサージ技術		第19週	・ 11章日本髪　（日本髪の結髪技術） ※使用道具や技術手順			
第5週	・ 8章エステティック　（カウンセリング理論） ※カウンセリングの目的と役割		第20週	・ 12章着付けの理論と技術　（着付けの目的） ※洋服、和服の目的と特徴			
第6週	・ 8章ボディケア技術　（手技と特徴） ※手技の目的と注意点を理解させる		第21週	・ 12章着付けの理論と技術　（礼装について） ※各種礼装の格式や特徴とは			
第7週	・ 9章ネイル技術　（ネイル技術概論） ※ネイル技術の種類		第22週	・ 12章着付け理論と技術　（着付けの要領） ※選び方や模様等の位置、バランス			
第8週	・ 9章ネイル技術　（爪の構造と機能） ※爪の各部名称や形状を理解させる		第23週	・ 12章着付け理論と技術　（振袖の着付け技術） ※補正技術や準備物について			
第9週	・ 9章ネイル技術　（公衆衛生について） ※細菌感染や消毒法を理解させる		第24週	・ 12章着付け理論と技術　（和装、洋装の花嫁） ※着付け方の手順や注意点など			
第10週	・ 9章ネイル技術　（ネイルケアの概論） ※使用道具及び技術の習得		第25週	・ 7～8章の復習 ※過去問題、並びに予想問題			
第11週	・ 10章メイクアップ　（メイクアップ概論） ※顔の形態学的な観察		第26週	・ 9～10章の復習 ※過去問題、並びに予想問題			
第12週	・ 10章メイクアップ　（メイクアップと色彩） ※色の三属性と色の分類		第27週	・ 11～12章の復習 ※過去問題、並びに予想問題			
第13週	・ 10章メイクアップ　（スキンケア技術） ※手順と目的を理解させる		第28週	・ 国家試験対策 ・ 技術理論①の総復習			
第14週	・ 10章メイクアップ　（まつ毛エクステンション） ※技術と手順、並びに注意点を理解させる		第29週	・ 国家試験対策 ・ 技術理論②の総復習			
第15週	・ 前期のまとめ ※前期授業の抜粋問題		第30週	・ 後期試験　（国家試験に向けて） ・ 技術理論①、②の抜粋問題			
評価方法	授業外で定期試験を実施する。授業内で単元ごとのテストや小テストを実施し,授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（60％）・単元テストや小テスト（30％）・授業態度や出席（10％）						
教科書 教材など	・ 日本理容美容教育センター出版「美容技術理論①美容技術理論②」 ・ 視聴覚教材：プロジェクター（パワーポイント）						
実務経験	森下堅一美容師歴7年/白神健一美容師歴6年・守谷志妃美容師歴3年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容実習	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	白神健一／守谷志妃／森下堅一	学年・学期	2年・通年	時間数	420 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	・ 国家試験の実技試験合格に向けて（ワインディング・ウェーブ・カットイ）を規定のタイムに入ることや、衛生試験においても全員が同じ理解度に達する為に指導を続けてる。 ・ また美容院に入社時にも困らない為に、サロン技術の基礎知識を理解できるように目指していきたい。						
授業計画・内容							
第 1 週	・ シャンプー技術（サイドシャンプーの復習） ・ ワインディング（タイムアップを図る。）		第 1 6 週	・ セットアップ作品の作成（スタイル・メイクのバランス） ＊テーマ：自由			
第 2 週	・ フルシャンプー＆スカルプトリートメント（週2時間） ・ ワインディング（衛生チェック。）		第 1 7 週	・ セットアップ作品の作成（スタイル・メイクのバランス） ＊テーマ：自由(学生達の感性を磨く)			
第 3 週	・ セットアップ（編み込みのアレンジ）① ・ オールウェーブ（7段構成の理解を深める）		第 1 8 週	・ 国家試験スタイル（レイヤー） ＊スタイルの構成を理解させる。			
第 4 週	・ セットアップ（編み込みのアレンジ）② ・ オールウェーブ（7段構成の理解を深める）		第 1 9 週	・ 国家試験スタイル（レイヤー） ＊パネルの引き出し方と角度を理解させる。			
第 5 週	・ ロングレイヤー（オーバーダイレクション） ・ ワインディング（タイム2 5～2 0分）		第 2 0 週	・ ワインディング（タイム2 0分を目安） ・ オールウェーブ（タイム3 0～2 5分目安）			
第 6 週	・ レイヤーのカット＆ブロー（スタイルを作る） ・ ヘアカラー（メッシュ：ウィービング・スライシ		第 2 1 週	・ 国家試験課題（ワイディング・ウェーブ） ＊使用した道具の使い分けと衛生指導。			
第 7 週	・ セットアップ(シニヨン；アイロン使用) ・ オールウェーブ（タイムアップ）		第 2 2 週	・ 国家試験課題（ワイディング・ウェーブ） ＊衛生チェック			
第 8 週	・ ワインディング（タイム2 5～2 0分） ・ アルカリ剤でのカラーリング（酸化染毛剤）		第 2 3 週	・ 国家試験課題（レイヤーカット） ＊タイムアップ3 0分			
第 9 週	・ オールウェーブ（タイムアップを図る。） ・ セットアップ（ホットカーラの巻き方）		第 2 4 週	・ 国家試験課題（レイヤーカット） ＊タイムアップ2 5分。衛生指導			
第 1 0 週	・ ヘアカラー（ヘアマニキュア） ＊酸化染毛剤と塗布の違いを理解させる		第 2 5 週	・ 国家試験課題（ワイディング・ウェーブ・カット） ＊衛生チェック。カット2 0分を目安。			
第 1 1 週	・ カット（ヘアデザイン：シンメトリ-・アシンメトリー）＊スタイルのバランス：黄金比率を理解させ		第 2 6 週	・ 国家試験課題（ワイディング・ウェーブ・カット） ＊見極め。補習によりフォローアップ			
第 1 2 週	・ セットアップ（シニヨン：髷の位置。似合わせ。）＊スタイルにより顔の印象を変える		第 2 7 週	・ 国家試験課題（ワイディング・ウェーブ・カット） ＊衛生チェック。それぞれの課題のタイムを計る。			
第 1 3 週	・ ワインディング（2 0分を目標） ・ オールウェーブ（3 0分を目安）		第 2 8 週	・ 国家試験課題（ワイディング・ウェーブ・カット） ＊見極め。補習によりフォローアップ			
第 1 4 週	・ ワインディングとオールウェーブの見極め ＊補習によるフォローアップ		第 2 9 週	・ 国家試験課題（ワイディング・ウェーブ・カット） ＊全員がタイムに入るように指導。			
第 1 5 週	・ 前期試験（ワインディング2 0分）・ウェーブ（3 0分）・カット（シザーズによるカット技法）		第 3 0 週	・ 国家試験課題（ワイディング・ウェーブ・カット）＊後期試験（課題に合わせたタイムと衛生チェック。			
評価方法	・ 授業内で定期試験を実施し、実技・衛生チェックの見極め、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（8 0％）・実技・衛生チェックの見極め（1 0％）・授業態度や出席（1 0％）						
教科書 教材など	・ 出版社：理容美容教育センター 書名：「美容技術理論Ⅰ・Ⅱ」「美容実習Ⅰ・Ⅱ」 ・ 出版社：新美容株式会社 書名：TOMOTOMO						
実務経験	白神 健一 美容師歴：6年 守谷 志妃 美容師歴：3年 森下 堅一 美容師歴：7年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ヘアカラーコーディネート	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	安井けい子・森香絵	学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	1 年次に身に着けた社会人としてのマナーをより習慣化できるよう、あいさつ、人との関わり方、コミュニケーション力等、接客力を磨く。学んだ色彩知識や理論を現場で活用できるよう、実践・応用力を高める。パーソナルカラーを取り入れた顧客への提案ができるよう理論・実習を通じて実践力を身に着ける。						
授業計画・内容							
第 1 週	1 年次ポイント復習と 2 年カリキュラム紹介		第 1 6 週	前期試験対策			
第 2 週	色彩と自己表現 「コラージュ作成実習①」		第 1 7 週	パーソナルカラー理論と実習③			
第 3 週	色彩と自己表現 「コラージュ作成実習②と発表」		第 1 8 週	パーソナルカラー理論と実習④			
第 4 週	色彩理論 「配色とイメージ」、カード実習		第 1 9 週	パーソナルカラー理論と実習⑤			
第 5 週	色彩理論 「照明と色の見え方」、ヘアカラーと配色実習		第 2 0 週	パーソナルカラー総復習と小テスト			
第 6 週	色彩理論 「対比と同化効果」、ヘアカラーと配色実習		第 2 1 週	パーソナルカラー診断理論と実習①			
第 7 週	混色理論復習と絵の具実習		第 2 2 週	パーソナルカラー診断理論と実習②			
第 8 週	配色理論とスクラッチアート実習		第 2 3 週	パーソナルカラー診断グループワーク①			
第 9 週	ヘアデザイン自由画作成と発表		第 2 4 週	パーソナルカラー診断グループワーク②			
第 1 0 週	色彩と嗅覚の相関関係 「アロマテラピー体験」		第 2 5 週	色彩と季節感実習 「和紙でクリスマスカード 作成」			
第 1 1 週	パーソナルカラー理論と実習①		第 2 6 週	パーソナルカラーとヘアカラー理論、実習①			
第 1 2 週	パーソナルカラー理論と実習②		第 2 7 週	パーソナルカラーコラージュ作成実習			
第 1 3 週	パーソナルカラーグループワーク「コラージュ作成」		第 2 8 週	パーソナルカラーグループワークと発表			
第 1 4 週	季節感と色彩実習 「せんす作成」		第 2 9 週	後期試験対①、カラーカード実習			
第 1 5 週	色彩とエンターテイメント 「映画と色彩」		第 3 0 週	後期試験対②			
評価方法	試験約60%、出席率と授業態度約20%、提出物約20% *特に提出物、授業に取り組み姿勢、他者との協調性等を重視する。						
教科書 教材など	色彩検定 3 級テキスト、パーソナルカラー検定 3 級テキスト、カラーカード						
実務経験	カラスクール主宰、色彩・パーソナルカラー講師25年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容総合研究	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	森下堅一・白神健一・守谷志妃	学年・学期	2年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	・美容院に就職した際に、先輩や店長またオーナーが施術をしている様子の「見る」ポイントを教え、また美容の専門用語が少しでも理解できることで美容雑誌の内容が把握でき今後の勉強に役立てる。、						
授業計画・内容							
第1週	・カット (カット理論・展開図の考え方を理解する)	第16週	・パーマ (パーマネントウェーブ理論)				
第2週	・カット (サロンスタイル・ロング)	第17週	・パーマ (スパイラルパーマ・ウィッグで実践する)				
第3週	・カット (サロンスタイル・ミディアム)	第18週	・パーマ (ピンパーマ・ウィッグで実践する)				
第4週	・カット (サロンスタイル・ショート)	第19週	・パーマ (ツイストパーマ・ウィッグで実践する)				
第5週	・カット (サロンスタイル・メンズ)	第20週	・縮毛矯正 (縮毛矯正理論・薬剤知識を学ぶ)				
第6週	・カット (セニングカットの色々な技法を覚える)	第21週	・縮毛矯正 (アイロン操作・ウィッグで実践する)				
第7週	・カット (レザーカットの使い方を覚える)	第22週	・縮毛矯正 (パーマをあてたウィッグで実践する)				
第8週	・カラー (ヘアカラーリング理論・染毛のメカニズム理解)	第23週	・ヘアアレンジ (編み込みが入ったアレンジスタイル)				
第9週	・カラー (オシャレ染め・塗布方法・ウィッグで実践する)	第24週	・ヘアアレンジ (成人式アップ・ホットカラーの使い方)				
第10週	・カラー (白髪染め・塗布方法・ウィッグで実践する)	第25週	・ヘアアレンジ (パーティアップ・ヘアアイロンのつく)				
第11週	・カラー (ブリーチ・塗布方法・注意点)	第26週	・卒業制作 今まで習った技術を使ってウィッグで作品を作る				
第12週	・カラー (ウィービングの技法・効果を学ぶ)	第27週	・卒業制作 今まで習った技術を使ってウィッグで作品を作る				
第13週	・カラー (スライシングの技法・効果を学ぶ)	第28週	・卒業制作 今まで習った技術を使ってウィッグで作品を作る				
第14週	・カラー (ヘアマニキュア・塗布方法・注意点)	第29週	・卒業制作 今まで習った技術を使ってウィッグで作品を作る				
第15週	・前期試験 カット・カラーに関するレポート提出	第30週	・後期試験 パーマ・縮毛矯正・アレンジに関するレポート提出				
評価方法	・定期試験は授業内で実施し、授業の進捗状況に応じ、実技の成長度合いや衛生に係る見極めと、授業態度、出席状況、各技術でのレポート提出ト考慮して成績を評価する。 ※評価目安：実技の成長度(40%)・衛生見極め（40%）・授業態度や出席（20%）						
教科書 教材など	・出版社：新美容出版株式会社発行。 書名：「SINBIYO」 ・出版社：日本理容美容教育センター発行。 書名：「美容理論Ⅰ」						
実務経験	森下堅一（美容師歴7年）/白神健一（美容師歴6年）/守谷志妃（美容師歴3年）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	リラクゼーション技法	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	森下堅一・白神健一・守谷志妃	学年・学期	2年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座）　ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	・リラクゼーション技法の授業を通して美容師の役割が、スタイルを作ることだけではなく、毛髪及び・頭皮のケアやお客様にリラックス効果を与えることも技術であること知ってもらい、また施術者は全ての技術を行う上で衛生上、清潔な道具や身なりが必要であることを理解させる。						
授業計画・内容							
第1週	・バックシャンプーを理解させる ＊バックシャンプーの手順を教える。	第16週	・スカルプマッサージ ＊相モデル：軽擦法～打法までを理解させる				
第2週	・バックシャンプーを理解させる ＊バックシャンプーの姿勢を教える	第17週	・スカルプマッサージ ＊頭部ののツボ（百会・目窓・太陽）の位置を確認）				
第3週	・バックシャンプー ＊バックシャンプーのシャワーヘッド使い方。	第18週	・スカルプマッサージ ＊頭部のツボ（百会・目窓・太陽・）の位置を確認）				
第4週	・バックシャンプー ＊バックシャンプーのネーブ部分の流し方。	第19週	・スカルプマッサージ ＊頸部のツボ（天ゆう・天柱・風池の位置を確認）				
第5週	・バックシャンプー ＊シャンプー＆トリートリートメント	第20週	・スカルプマッサージ ＊頸部のツボ（天ゆう・天柱・風池の位置を確認）				
第6週	・サイドシャンプーを理解させる ＊サイドシャンプーの手順を教える。	第21週	・スカルプマッサージ ＊圧迫法（圧迫弛緩・肩井のツボを確認））				
第7週	・サイドシャンプーを理解させる ＊サイドシャンプーの姿勢を教える	第22週	・バックシャンプー（モデルチェンジ） ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第8週	・サイドシャンプー ＊サイドシャンプーのシャワーヘッド使い方。	第23週	・サイドシャンプー（モデルチェンジ） ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第9週	・サイドシャンプー ＊サイドシャンプーのネーブ部分の流し方。	第24週	・バックシャンプー＆トリートメント ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第10週	・サイドシャンプー ＊シャンプー＆トリートリートメント	第25週	・サイドシャンプー＆トリートメント ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第11週	・アームマッサージ ＊腕の軽擦・強擦・揉擦法	第26週	・ロールプレイング ＊受付・施術・案内までの練習				
第12週	・ハンドマッサージ ＊手背・手掌・指のマッサージ	第27週	・ロールプレイング ＊受付・施術・案内までの練習				
第13週	・ブロードライ ＊ドライヤーの使い方・ブラシの使い方	第28週	・バックシャンプー（モデルチェンジ） ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第14週	・アーム＆ハンドマッサージ ＊相モデルでブロードライスタイリング	第29週	・サイドシャンプー（モデルチェンジ） ・スカルプマッサージ全体の流れ				
第15週	・授業中に前期試験を実施。	第30週	・授業中に試験を実施（総まとめ）				
評価方法	・定期試験として、前期・後期終了時に実技及び衛生関わるチェックの見極め、レポート、成長度、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：実技(40％)・衛生チェック（40％）・授業態度・出席・成長度（20％）						
教科書 教材など	出版社：日本理容美容教育センター。　書名：美容理論Ⅱ・美容実習Ⅱ ・メーカー作成：スカルプマッサージマニュアル						
実務経験	森下堅一（美容師歴7年）/白神健一(美容師歴6年)/守谷志妃(美容師歴3年)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅠ		学科名	ヘアビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	(前期)：中村 友里恵 / (後期)：担任 / 柿本 典子		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	授業方法	実技
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。							
到達目標	（前期）：ネイルの基礎知識、挨拶、接客を含め、将来働く職場での興味を持たせ、実際に就職した際に実践的な行動が取れるようにする。 （後期）：サロンに就職した際に極力知らない技術が無いように教え、前期に引き続き美容師の仕事は技術だけではなくお客様の気持ちになれることの大切さを教えて行きたい。							
授業計画・内容								
第 1 週	自己紹介、授業の進め方、教材確認、ラベル・名前・シール貼り			第 1 6 週	着付け（着付けの基礎：和服と洋装の違い）			
第 2 週	爪の構造と機能について			第 1 7 週	着付け（下着の種類と着付け方）			
第 3 週	爪のカットスタイル・エメリーボードの使い方説明チップで5種類の形をとる			第 1 8 週	小物の扱い方・着物と帯の種類			
第 4 週	爪のカットスタイル②チップで5種類の形をとり、提出			第 1 9 週	小物の扱い方とたたみ方・結婚式の装い。			
第 5 週	消毒方法と種類・器具の消毒の手順、病気について			第 2 0 週	結婚式の装い。			
第 6 週	ネイルケアの手順説明、カラーリング説明（ペーパーでカラーリング練習）			第 2 1 週	＊グループ決め（役割分担） 美容雑誌等を参考に作品のイメージを決める。			
第 7 週	ネイルケア、カラーリング 自分の手で練習（シャイナーで爪磨き）			第 2 2 週	ウィッグで練習して分からないところを研究した質問をする。			
第 8 週	ジェルネイルの基礎知識			第 2 3 週	ウィッグで練習及び研究をする			
第 9 週	ジェルカラーの塗り方（チップで練習）			第 2 4 週	作品のテーマを考える。			
第 1 0 週	ネイルアートの種類、描き方（ジェルネイルも含む）			第 2 5 週	作品制作（カラー＆メイク）			
第 1 1 週	ネイルアートの実践（フラットアート）			第 2 6 週	作品発表（テーマとポイントの説明）			
第 1 2 週	ネイルアートの実践②（ジェルアート）			第 2 7 週	トータルバランスの審査。			
第 1 3 週	ネイルアートの実践③（ネイルチップの作成）			第 2 8 週	トータルバランスの審査と結果発表。			
第 1 4 週	ネイルアートの実践③（ネイルチップの作成・提出）			第 2 9 週	ヘアカラー実践（パッチテストの理解を深める。）			
第 1 5 週	マッサージの手順・説明・実践（ハンドマッサージ・パラフィンパック）			第 3 0 週	ヘアカラー実践（希望色に染める）			
評価方法	（前期）：学期末試験で筆記試験の結果、授業態度や出席状況及び課題提出状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：筆記試験結果（70％）・授業態度や出席（20％）・課題提出（10％） （後期）：定期試験を実施し、授業内でトータルバランス審査結果と授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：トータルバランス審査結果（80％）・授業態度や出席（20％）							
教科書 教材など	（前期）：出版社 「日本理容美容教育センター」 書名：美容技術理論Ⅱ及び美容実習Ⅱ （後期）：出版社 「女性モード及び新美容出版」 書名：H A I R M O D O・T O M O T O M O・S H I N N R I Y O							
実務経験	前期：中村 友里恵(ネイルサロン経歴13年) /後期：担任					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅢ	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	岡野 宏行	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ポディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	「静観」ではなく「行動」を起こせる人材育成。今後控えている国家試験、サロンへの就職、「行動」が出来ることが様々な物事へのサクセスにつながると思うので、しっかり実践していきたい。又、一般常識、マナーを毎授業しっかりと教えていくことにより、就職した際にサロン様も本人も困らないように教えていく。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、自己紹介、未来の創造						
第2週	ロングウィッグの毛先カット、シザーの扱い方、アイロンスタイリング						
第3週	ハーフアップ、ポニーテールアレンジ、自分の好み探し						
第4週	自分理解、好みや今自分が求めているデザインの集約						
第5週	やってみたいデザインを創造、オリジナルヘアアレンジを作る						
第6週	カメラを使って自分が作ったヘアアレンジを撮影						
第7週	カラーリング（ブリーチデザイン）、ハイトーンカラー理論						
第8週	オンカラー、ワンレングスカット						
第9週	3人1組になり、小グループで1人をモデルにヘアデザイン、トータルコーディネート						
第10週	特別撮影授業、3人で1つの作品作り						
第11週	ボブヘアアレンジ、ショートカット						
第12週	ストレートパーマ、カールパーマ						
第13週	メンズスタイルカット、ウィッグで完全オリジナルのカットスタイルを考える						
第14週	未来到達、社会人としての授業、前期試験準備						
第15週	前期試験、授業まとめ						
評価方法	①前期試験の評価（60％） ②授業態度（20％） ③準備物、服装（20％）						
教科書 教材など	日本理容美容教育センター美容技術理論 パソコンで写真掲示						
実務経験	美容師歴12年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅢ（ベーシック）	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	吉川 利也	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	他の科目同様、国家試験合格を念頭に置きその中でもよりサロンワークに近い目線で基礎的な技術や知識を授業の中に落とし込んで理解と美容業への好奇心を深めていくことを目標とする。また技術、知識のみならず社会人になっていく上で必要な礼儀、考え方、在り方も身につける事が出来るようにする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、ベーシック専攻の概要						
第2週	シザーの持ち方、開閉練習、ロングスタイルのベーシックカット						
第3週	ロングボブのカット、セニングの理論、大切さ、セニングでの仕上げ方						
第4週	カット（ショートボブ、グラデーションカット理論）アイロンでの仕上げ方						
第5週	幅広いコ手巻きの使い方を知る、夢を持つことの大切さをかんがえる						
第6週	ブリーチを使用しインナーカラーを施す。感謝と思いについて考える						
第7週	カラー理論（ハイライト）、基本的なホイルワークの技術、挨拶の大切さについて考える						
第8週	毛束を使ってマニュキア（3原色）でカラーの調合、レシピを作り発表し共有する						
第9週	ヘアアレンジ、幅広の編み込み技術、グループに分かれて実習、継続力の大切さについて考える						
第10週	ショートスタイル理論、カット、ロング、ボブとは違う質感調整の考え方、前髪の切り方						
第11週	メンズカット、刈り上げの切り方、スタイリング剤の使い方、挑戦と成長の関係性について知る						
第12週	プロジェクターを使いカラーやパーマの髪の毛に対するケミカル理論、パーマをロッドの代用となるもの（割りばし等）でパーマの当たり方、原理を直に体験して学ぶ						
第13週	前期試験課題の解説及び準備、事前のウィッグ仕込み、課題スタイルの共有						
第14週	前期試験（課題スタイルをコピーカット、スタイリング）						
第15週	前期試験の結果発表、これまでの振り返りを含め、将来ビジョンについて						
評価方法	①前期試験の評価（60％） ②授業態度と出席（20％） ③授業中の技術見極め（20％）						
教科書 教材など	日本理容美容教育センター美容技術理論、新美容出版SHINBIYO/BOB プロジェクター、パソコンでパワーポイント						
実務経験	美容師歴 8 年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅢ（ブライダルヘアメイク）		学科名	ヘアビューティ学科		授業方法	実技	
担当教員	塘 麻衣 / 高下 沙弥 守屋 美沙 / 八代 友莉恵		学年・学期	2 年・前期	時間数	60 時間	必須・選択	選択
授業概要 ・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。							
到達目標	目標としては就職したときに必要なヘアメイクの技術を身につけ、基礎から流行のヘアメイクが出来るようになる。またお客様へ接客マナーや態度を踏まえ臨機応変な対応が出来るようになる							
授業計画・内容								
第 1 週	オリエンテーション、ホットカーラーの巻き方 8分巻き							
第 2 週	洋装花嫁のヘアセット ウィッグから相モデル							
第 3 週	洋装花嫁のヘアセット ウィッグから相モデル							
第 4 週	和装花嫁のヘアセット							
第 5 週	和装花嫁のヘアセット							
第 6 週	花嫁メイク 洋装 相モデル							
第 7 週	花嫁メイク 和装 相モデル							
第 8 週	ヘアセット応用編①							
第 9 週	ヘアセット応用編② ドレス着せ方レクチャー							
第 1 0 週	グループに分かれてヘアメイク（ドレス着用）							
第 1 1 週	グループに分かれてヘアメイク（ドレス着用）							
第 1 2 週	ヘアセット応用編③							
第 1 3 週	ヘアセット応用編④							
第 1 4 週	実技テストの練習							
第 1 5 週	実技テスト							
評価方法	定期試験を実施し出席率、授業態度や最後の授業時の花嫁ヘアメイクテストを考慮して成績を評価する。評価目安：テスト及び毎時間の課題やレポート（80％）授業態度や出席							
教科書 教材など	百日草 はなよめ							
実務経験	塘 麻衣（美容師歴13年） / 高下 沙弥（美容師歴4年） 守屋 美沙（美容師歴9年） / 八代 友莉恵（美容師歴4年）					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅢ（着付け）	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	清水 直子	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	必須・選択	選択
授業概要・ 授業内容	◇和装着付けマナー、着物・小物の取り扱い、名称などを理解させ、着付けの基礎となる留袖着付けの技術を学ぶ授業。 ◇授業は実技形式で、座って挨拶（正座） ボディーを使用して個人レベルに合わせて細かく指導する。相モデルにより、体型別補整の仕方、着付けの仕方を個々に指導する。						
到達目標	・美容師において特殊技能として必要な和装着付けを、冠婚葬祭の対応として基礎から応用まで教え、最終留袖着付けは25分以内で着付けできるように目指す。また、浴衣、振袖着付けの技術の基礎も教えサロンワークに生かせるようにしたい。						
授業計画・内容							
第 1 週	・着付けのマナー、着物の取り扱い方 ・着物各部の名称を覚える。 ・長襦袢半襟のつけ方を学ぶ。						
第 2 週	・長襦袢の襟とじ。体型補整用コットン、胸当てガーゼ、腰当布を作成しボディ補整を学ぶ。						
第 3 週	・長襦袢着付け（ボディ使用）・腰紐の結ぶことになれる。留袖着付けに、着物の取り扱い方を学ぶ。						
第 4 週	・袖着付け（ボディー） ・帯結び 二重太鼓を学ぶ。						
第 5 週	・袖着付け（ボディー） ・帯結び 二重太鼓。 着物の衿合わせ、前中心、後ろ中心を揃える。						
第 6 週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 着物と帯結びのバランスを細かく学ぶ。						
第 7 週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 留袖着付け（礼装）の小物バランスを学ぶ。 帯揚げ、帯締め、末広						
第 8 週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 格式高い留袖着付けのバランスを学ぶ。						
第 9 週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 30分以内で着せる練習。						
第 1 0 週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 25分以内で着せる練習。						
第 1 1 週	・留袖着付け 帯結び（ボディー使用） 認定テストタイム25分で着せる。						
第 1 2 週	・浴衣着付け（相モデル） 浴衣の着せ方 半幅帯の結び方 変わり帯結び 浴衣自装						
第 1 3 週	・振袖着付け（ボディー使用） 振袖の着せ方（留袖との違い） 袋帯の結び方						
第 1 4 週	・振袖着付け（相モデル） 体型別補整 振袖着付け 袋帯の結び方 創作帯結び						
第 1 5 週	・振袖着付け（ボディ使用） 振袖着付け 創作帯結び 発表						
評価方法	・授業中に認定試験を実施し、授業内で技術見極め、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：認定試験（8 0％）・授業内の技術見極め（1 0％）・授業態度や出席率（1 0％）						
教科書 教材など	・出版社：公益社団法人・日本理容美容教育センター 書名：美容技術理論Ⅱ ・出版社：（株）アイメディア 書名：ゆかたアップ＆帯結び b o o k						
実務経験	美容師経歴33年 着付歴31年				実務経験のある教員による 授業科目		✓